

どうやって、利用するの？

ベビーシッター会社を選ぶ

情報収集

まずはじめに、**ベビーシッター会社の情報を集めましょう。**
全国保育サービス協会では、協会会員会社のリストを配布しています。ホームページからの検索もできます。また、インターネット、タウンページ等で探してみるのもよいでしょう。

今すぐに利用しない場合でも、パンフレットを取り寄せたり、リストを手元に備えたりしておきましょう。いざというとき安心です。

問合せ

ベビーシッター会社を選びます。
ベビーシッター会社はそれぞれ特徴を持っています。各社、システムや料金に多少の違いがありますので、自分の条件と合うところを探し、疑問に思うことは問い合わせて、不安は解消しておきましょう。窓口の対応もベビーシッター会社選びのポイントです。子どもの年齢、どのように利用したいか、どんなベビーシッターがよいか等希望を伝えて、対応してもらえるかを確認しましょう。

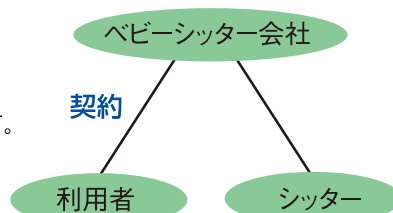
聞いておきたいこと

- ・利用料金・対応可能地域・最低引き受け時間・電話予約の時間
- ・何日前までに依頼すればよいか・会員制の有無
- ・シッターの指名は可能か等



契約

ベビーシッター会社と契約を結びます。
利用したいベビーシッター会社が見つかったら、利用契約を結びます。契約内容や利用規約等の約束事はしっかり確認しましょう。



万一の事故の場合の対応等もしっかり確認しましょう

ベビーシッターサービス利用の手続き

申込み

ベビーシッター利用を申込みます。
利用日が決まったら、ベビーシッター会社に電話をかけます。

伝えること

- ・利用日 ・利用時間
- ・子どもに関する情報(名前、性別、生年月日、アレルギーの有無等)
- ・保育場所(送迎の有無)等

打合せ

保育(利用)内容の打合せをします。
事前にベビーシッター会社と打合せをします。

- ・どのようなお世話をしてほしいか
- ・食事やおやつについて
- ・お昼寝の時間や寝るときのくせ
- ・好きな遊び、おもちゃ
- ・しつけのポイント
- ・訪問者や電話の対応方法等
- ・保育園等へのお迎えや、おけいこ事への送迎についての方法等

ベビーシッターへの希望があれば伝えます。

例えば 「・明るい人・活発な人・保育関係の有資格者
・〇歳位の人・子育て経験がある人…」 等

ベビーシッター会社では、ご依頼者のご希望と子どもの年齢(月齢)や個性、ベビーシッターの個性等いろいろなことを考慮して、所属しているたくさんのベビーシッターの中から、できる限りご要望に添ったコーディネートをします。担当のベビーシッターから直接お電話でごあいさつをする場合もあります。

ベビーシッターサービス利用の当日

当日の 打合せ

さあ、ベビーシッターがやってきます。

「こんにちは！ ○○ベビーシッター会社の△△です。□□ちゃん、よろしくね！」
ベビーシッターは、お約束時間の5～10分前位にお伺いします。
そして、ご依頼者(お母さん、お父さん、おばあちゃんなど)から引継ぎをします。
心配なこと、こうして欲しいと思っていることは、言葉やメモではっきりと伝えてください。

- ・当日の緊急連絡先、方法
- ・当日の子どもの健康状態
- ・保育に必要な備品について
- ・使用してよい部屋、だめな部屋の確認等

安心しておまかせください！
ベビーシッターは子どもとすぐに仲よくなれます。
安心して笑顔でお出かけください。

ベビー シッター による 保育

子どもとベビーシッターの大切な時間、 ゆるやかな時間が流れます。

子どもの安全を第一に、あらかじめ打ち合せたご要望にそってお世話をします。
楽しい時間を過ごせるようベビーシッターは工夫をします。
手作りおもちゃ、絵本の読み聞かせ、手遊び、お絵かき、外遊びなど…
ベビーシッターのポケットにはたくさんの宝物が詰まっています。
また、小学生になっても、宿題をいっしょにしたり、公園で遊んだりもします。

保育の 終了と 報告

「おかえりなさい！」ベビーシッターから シッティング中の報告をします。

ベビーシッターは、お預かりした間の子どもの様子を「シッティングレポート(保育記録)」に記入してご報告します。

- ・お昼寝の時間
- ・食事やおやつとの時間と量
- ・排泄の時間と様子
- ・何をして遊んだか
- ・子どもの様子やご機嫌 等

留守中の子どもの様子について、ベビーシッターにたずねたいことがあったら、気軽に聞いてみましょう。

料金の支払い

後日、ベビーシッター会社から利用料金の
請求をします。

※具体的な利用方法は、8～10PのQ&Aをご覧ください。

シッターさんまた来てね！



ベビーシッターなどを利用するときの留意点

ベビーシッターなどを利用される場合には、以下の点にご注意ください。

1. まずは情報収集を

ベビーシッターを利用するには、事業者申し込み、所属するベビーシッターが派遣される方法と、マッチングサイトを通じてベビーシッター個人に利用者が直接依頼する方法があります。保育料の安さや手軽に頼めるかという視点ではなく、信頼できるかどうかという視点で、ベビーシッター事業者の情報を収集しましょう。マッチングサイトを通じての利用の場合は特に詳細に情報収集を行い、マッチングサイトの[ガイドライン適合状況調査サイト](#)を確認しましょう。情報収集にあたっては、都道府県や市町村の情報、[公益社団法人全国保育サービス協会に加盟している会社のリスト](#)などを活用しましょう。一時預かりが必要な場合やひとり親への様々な支援が必要な場合は、ベビーシッターの利用に限らず、市町村に相談しましょう。



ガイドライン適合状況
調査サイト



(公社)全国保育サービス協会
に加盟している会社のリスト

2. 事前に面接を

ベビーシッターの派遣を事業者依頼する場合、ベビーシッターに対する希望を明確に伝えましょう。派遣される予定のベビーシッターと事前に面談を希望する場合は、事業者へ申し出てください。マッチングサイトを通じて依頼する場合には、インターネットの情報だけを頼りにするのではなく、実際に子どもをベビーシッターに預ける前に必ずベビーシッターと面会し、子どもを預かる方針や心構えなどについて質問して、信頼に足る人物かどうかを確認しましょう。また、子どもを預ける際には、必ず事前に面会したベビーシッター本人に直接子どもを預けるようにしましょう。

3. 事業者名、氏名、住所、連絡先の確認を

実際に子どもをベビーシッターに預ける際には、事業者名、ベビーシッターの氏名、住所、連絡先を必ず確認しましょう。その際、ベビーシッターの身分証明書を提示してもらうようにしましょう。マッチングサイトを通じての利用の場合には、マッチングサイトで公開されている保育者の情報を再度確認するとともに、都道府県等に事業者としての届出をしているかも確認するといいでしょう。

4. 保育の場所の確認を

保育の場所が子どもの自宅以外である場合は、事前に見学して、子どもの保育に適切な場所かどうかを確認しましょう。

5. 登録証の確認を

ベビーシッターが保育士や認定ベビーシッター(※)の資格を持っている場合は、保育士登録証や認定ベビーシッター資格登録証の提示を求めて確認しましょう。保育に関する研修を受けているかどうかを確認してもいいでしょう。

※「認定ベビーシッター」とは、公益社団法人全国保育サービス協会が、ベビーシッターとして必要な専門知識及び技術を有すると認定した人です。詳しくは、[全国保育サービス協会HPの資格認定制度のサイト](#)を参照してください。



全国保育サービス協会HPの
資格認定制度のサイト

6. 保険の確認を

万が一の事故に備えて、保険に加入しているかやその内容、金額を確認しましょう。ベビーシッターを派遣した事業者やマッチングサイトの運営者等にも同様に確認しましょう。

7. 預けている間もチェックを

子どもをベビーシッターに預けている間も、子どもの様子を電話やメールで確認するようにしましょう。カメラなどで子どもの様子を見たいと保育者に伝えてもいいでしょう。

8. 緊急時における対応を

預けている子どもの体調が急変するなどの緊急事態が生じた際に、ベビーシッターからすぐに連絡を受けることができるような体制を整えましょう。

9. 子どもの様子の確認を

ベビーシッターから子どもの引き渡しを受ける際、どんなことをして遊んだのかといった保育の内容や預かっている間の子どもの様子について、ベビーシッターから報告を受けましょう。子どもの様子次第では、お子さん本人にも確認しましょう。

10. 不満や疑問は率直に

ベビーシッターに対する不満や疑問が生じた場合は、ベビーシッターを派遣した事業者やマッチングサイトの運営者等にすぐ相談しましょう。内容によっては、事業者等ではなく、都道府県や市町村の保育担当部署、地域の消費生活センターなどに相談しましょう。